

足羽川ダム建設事業環境影響評価技術検討委員会

第1回検討会

◎足羽川ダム建設事業環境影響評価技術検討委員会 第1回検討会（動物・植物・生態系）が平成19年5月22日に福井厚生年金会館にて開催されました。

足羽川ダム工事事務所長挨拶



足羽川ダム工事事務所 岩崎福久所長からの挨拶

委員紹介



第1回検討会では、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、陸産貝類、魚類、陸上昆虫類、底生動物、植物、生態系、付着藻類を担当分野とされる8人の委員で動物・植物・生態系について検討されました。

第 1 回検討会出席委員

担当分野	氏 名		現 職 等
哺乳類	西垣 正男	にしがき まさお	福井県海浜自然センター 企画主査
鳥類 (鳥類部会長)	林 武雄	はやし たけお	日本鳥類保護連盟 理事
爬虫類 両生類 陸産貝類	長谷川 巖	はせがわ いわお	福井県両生爬虫類研究会 会長
魚 類 生態系	加藤 文男	かとう ふみお	元仁愛女子短期大学 教授
陸上昆虫類	下野谷 豊一	しものや とよかず	日本鱗翅学会 会員
底生動物	前田 正紀	まえだ まさのり	仁愛女子短期大学 准教授
植 物 生態系	渡辺 定路	わたなべ さだみち	元福井市自然史博物館 館長
付着藻類	安達 誘	あだち さそひ	福井陸水生物研究会 会員

第1回検討会での審議骨子

I. 事務局からの報告

事務局より以下の事項が報告されました。

- ・ 動物、植物について
 - ・ 調査の考え方
 - ・ 既往調査結果
- ・ 生態系について
 - ・ 上位性
 - ・ 典型性

事務局からの報告に対する委員からの意見及び事務局回答は以下のとおりです。

事務局からの報告に対する委員からの意見及び事務局回答 (1/2)

指摘事項	指摘内容	事務局回答	
動物・植物	文献調査について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文献調査に使用する文献の精査を行ったほうがよい。 	委員の方々に個別にヒアリングを行い、使用文献に関する御意見をいただく。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 文献の表記について、発行年と、著者も記載しておくようにすること。 	修正する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 文献の引用先がわかるようにすること。 	修正する。
現地調査について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現地調査で確認された重要種のいくつかの種について、標本があれば見せてほしい。 	標本の有無を確認し、存在するものについては確認頂く。	
ニホンオオカミ・オオサンショウウオの取り扱いについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニホンオオカミは絶滅したので、但し書きをつけて重要種リストから外してはどうか。 ・ ニホンオオカミの取り扱いについては、過去にはニホンオオカミが生息できるような環境があったという証拠になるので、リストに入れておくとともに、どこに生息していたのかも記録しておいて欲しい。 	ニホンオオカミの取り扱いについては事務局で再検討する。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一乗谷川のオオサンショウウオは人為的な持ち込みによることが明らかであるため、持ち込みだと書いてよいが、重要な種のリストには入れておくこと。 	同上	
移入種の取り扱いについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移入種であることが明らかなもの(イチモンジタナゴ、ハス、トウヨシノボリ)については注意書きを示すこと。 	移入種との注意書きを加える。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移入種を予測評価の対象外とするかどうかは、別途議論が必要。 	重要な種各種について、予測評価の対象とするかどうかは今後検討を行う。	
資料の公開について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 付着藻類では、重要な種について広く知ってもらうことが保全につながるので、資料を公開して欲しい。 	精査を行い、リストが確定した後、最終的には公開する予定である。位置情報は公開しない。	
種リストの整理方法について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現地調査で、全てが種まで判別できているわけではなく、属までのもの、科までのものなどがある。種を確定できていないものは載せる必要はないのではないか。 ・ 種までのほうがデータの信用性は高くなるが、具体的にどうするかはそれぞれのグループで異なる。 ・ 種としてはカウントしないが、リストには載せておくこ 	種リストの整理方法は事務局で再検討する。	

		とでどうか。	
--	--	--------	--

第1回検討会での審議骨子

事務局からの報告に対する委員からの意見及び事務局回答

(2/2)

指摘事項		指摘内容	事務局回答
生態系	特殊性について	・ 特殊性として、既に改変された地域が特定できないか。	現在のアセスの制度では、湿原や湧水などの環境を扱うこととしている。
	上位性の注目種について	・ 夜行性のオオコノハズクやコノハズクが考慮されていない。	事務局で再検討する。
	溪流的な河川について	・ 溪流的な河川として選定されたあたりは本来はヤマメやイワナの生息域である。もしこれらの魚類が確認されていないなら、改変されているから、などの理由を記載しておくべきである。	事務局で再検討する。